

新デザインへの渴望

京都高等工芸学校とドイツ・オーストリアのアール・ヌーヴオー

JUGENDSTIL SECESSION

2021.10.1 金 - 11.6 土

会場：京都工芸繊維大学美術工芸資料館（地下鉄烏丸線松ヶ崎駅下車徒歩10分） 開館時間：10:00-17:00（入館は16:30まで）
休館日：日曜・祝日、10月23日（土） 入館料：一般200円 / 大学生150円 / 高校生以下無料

*京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生・院生は学生証の提示により無料*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳または被爆者健康手帳をお持ちの方及び付添の方1名は無料（入館の際は、手帳の提示をお願いします）

企画・主催：京都工芸繊維大学美術工芸資料館

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES



京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

MUSEUM AND
ARCHIVES
KYOTO, 2021

新デザインへの渴望

京都高等工芸学校と
ドイツ・オーストリアの
アール・ヌーヴォー



京都工芸繊維大学の前身校のひとつ京都高等工芸学校では、1902(明治35)年の開校時より、デザイン教育のため海外からさまざまなジャンルのデザイン資料が収集されました。その範囲は、イギリスやフランスをはじめ、イタリア、デンマーク、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、アメリカと幅広い地域に及んでいます。なかでも1900年のパリ万国博覧会をきっかけに世界的な反響をよびおこしたフランスを中心とするアール・ヌーヴォー様式は、図案科の初代教授、浅井忠(1856-1907)らの活動もあって、京都高等工芸学校の初期教育に大きな影響を及ぼしました。

一方で、初代校長の中澤岩太(1858-1943)や色染科の教授、鶴巻鶴一(1873-1942)らの留学先であったドイツや、武田五一(1872-1938)がイギリス留学の際に立ち寄ったオーストリアのデザインもまた、彼らに刺激を与えるものでした。1907年の浅井の死後、武田と本野精吾(1882-1944)が中心となった図案科の教育は、時代の要請にしたがって、京都の伝統産業である美術工芸品のデザインから、室内装飾や建築装飾を含む総合的なデザイン教育へと変化していきます。そこには、総合芸術をめざしたウィーン・ゼツェションの活動やその成果として生み出されたユエグント・シュティールが少なからず影響を与えたと考えられます。

本展では、今年開館40周年を迎える京都工芸繊維大学美術工芸資料館がこれまで蓄積してきたドイツ・オーストリア周辺のデザイン資料のなかから、近年まとまって展示することのなかった、1902年の京都高等工芸学校開校時から1915年にかけて購入した作品を公開します。伝統的な美術から脱皮し、新しいデザインを模索した京都高等工芸学校で受容された多彩なデザインをお楽しみください。

1.リヒャルト・リーマーシュミット《クルーグ》ドイツ1911以前 AN.1490 2.《白鳥模様水差し花瓶》Ed. Stellmacher & Co. (オーストリア) 1905-1910 AN.1352 3.《バラ模様ティーポット》Kunstkeramik Paul Dachsels (オーストリア) 1903-1910 AN.1369 4.《植物模様花瓶》ベルリン王立磁器製作所(KPM)(ドイツ) 1915以前 AN.1668 5.コロマン・モーザー《第5回ウィーン分離派展》オーストリア 1899 AN.3333 6.《錫製スズラン模様花瓶》J.P. Kayser & Sohn AG (ドイツ) 1894-1902 AN.0701 7.《スズラン模様花瓶》オーストリア 1915以前 AN.1693 裏面:ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ《第2回ウィーン分離派展》オーストリア 1898 AN.3332

同時開催

開館40周年記念企画展第2弾 美術の教育／教育の美術

会期：2021年9月27日(月)～11月6日(土) 休館日：日曜日・祝日、10月23日(土)

当館の感染症予防対策の取組み

- ◇お客様対応をおこなうスタッフはマスクを着用し、検温による健康チェック及び手指の消毒をおこなっております。
- ◇受付には、飛沫感染防止用つい立てを設置しております。
- ◇館内入口と一部展示室の窓を常時開放し、可能な限りの換気に努めております。
- ◇多くのお客様が手を触れる箇所の定期的な消毒を実施しております。

ご来館の皆様へお願い

- ◇次に該当する方は来館をお控えください。
 - ・発熱、せき、くしゃみ、臭覚・味覚異常など風邪の症状がある方や、体調のすぐれない方
 - ・過去2週間以内に新型コロナウイルス感染者または感染の疑いがある方と濃厚接触が疑われる方
 - ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国への訪問歴がある方。
- ◇マスクの持参・着用をお願いいたします。マスクを着用されていない方は、ご入館をお断りいたします。
- ◇来館時に職員による検温を実施いたします。37.5度以上の熱があるお客様は、ご入館をお断りいたします。
- ◇団体でのご来館はお控えください。混雑状況に応じて、入館をお待ちいただく場合がございます。
- ◇設置している消毒用アルコールで、手指の消毒をお願いいたします。
- ◇ご入館の際に、氏名・連絡先等の記入をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

お問い合わせ

京都工芸繊維大学美術工芸資料館
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
TEL 075-724-7924 <http://www.museum.kit.ac.jp/>

交通

- 市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約10分
- 京都バス「高野泉町」下車、西へ徒歩約10分
- 叡山電車「修学院駅」下車、西へ徒歩約15分

